

# 福島のサクラ 被災者と植樹

久万高原 県空調衛生協会

空調や水回りなどの  
事業者でつくる県空調  
衛生設備業協会(松山



福島県のサクラの苗を植樹する避難者と  
県空調衛生協会員

市、佐藤守成会長)は活動協定(2011年20日、久万高原町下畑から5年間)を結び、野川の町有地で、県内に避難している東日本大震災の被災者を招き、会員と力を合わせて福島県のサクラの苗を植樹した。

協会は町や県と「企業の森林(もり)づくり」マザクラの苗15本をスッコップやくわを使って

参加者約50人は、高さ約1・2メートルのオオヤマザクラの苗15本をスッコップやくわを使って被災者を招いた。

植え、倒れないように立てて縛った。未来の自分や家族に宛てた手紙や当日の新聞などを入れたタイムカプセルも埋めた。

福島県双葉町から避難中の会社員沢上裕さん(34)「松山市末町」は「震災で避難してきた私たちの存在の証し。いい記念になった」と話し、会員の亀岡誠さん(59)「同市平和通6丁目」は「被災者の声を直接聞けて良かった。将来みんなで見ることができればいいと思う」と願った。

(雲出浩二)